

「情報の救急箱」をつくるミドルメディア

ミドルメディアは、福島第一原発事故をきっかけに、「生活のことば」で科学と社会をつなぐ大切さを実感した市民による、新しいコミュニケーションの手法です。

さまざまな領域で、私たちは科学と社会の“きしみ”を感じています。当事者の視点、現場の痛みを、顔が見える距離（マスではなくミドルレンジ）で共有し、立場の違いや専門性の壁を越えて交流する場を作りたい。そこで生まれた智恵や知見を広めたい。その実現を目指す活動です。

今回は、福島第一原発事故の後、分断されてしまった被災地の地域コミュニティに目を向けます。

ゲストスピーカー：

半谷 輝己

福島ステークホルダー調整協議会
事務局長

神谷 さだ子

日本チェルノブイリ連帯基金

鈴木 達治郎

原子力委員会 委員長代理

モデレーター：

小出 重幸

科学ジャーナリスト

日時：2013 年 4 月 14 日（日曜日）

13:30 ～ 17:00

場所：筑波大学 茗荷谷キャンパス

東京都文京区大塚 3-29-1

参加申し込み（定員 50 名）・お問い合わせ：

<http://goo.gl/pgN99>

主催：ミドルメディア実行委員会

共催：日本科学技術振興機構、筑波大学、日本サイエンスコミュニケーション協会

第 2 回 ミドルメディア・シンポジウム

テーマ：放射線の影響と地域コミュニティ